

ネパール政治ニュース (18年4月) ヘッドライン

政 治	
内政	<ul style="list-style-type: none"> (1) 14日、オリ首相は、ムグ郡ララ湖から国民に対してビクラム暦新年の演説を行った。 (2) 17日、プシュパ・カマル・ダハル・ネパール共産党マオイストセンター (MC) 議長は、KPオリ首相の独断的な政権運営を批判し、4月22日までのネパール共産党統一マルクス・レーニン主義派 (UML) とMCの党統合は行われまいだろうと述べた。 (3) 22日、UML及びMC議員から成る党統合調整委員会は、レーニンの誕生日を祝う式典を主催し、KPオリ首相及びダハルMC議長等が出席した。同式典にて両党の統合が発表される予定であったが、調整がつかなかった。 (4) 24日、ネパール政府は、UML中央会計委員会議長のプシュパ・ラズ・カデルを国家計画委員会 (NPC) 副議長に任命することを決定。NPC副議長のポストは、本年2月19日にスワルニム・ワグレ前副議長が辞任してから、空席であった。
外交	<ul style="list-style-type: none"> (1) 1-3日、中満泉国連事務次長 (軍縮問題担当上級代表) がネパールを訪問。オリ首相、ギャワリ外相等を表敬。 (2) 6-8日、オリ首相はインドを訪問。6日、モディ首相との間で首脳会談を開催。両首相は、二国間の相互関係及び協力関係を新たな高みに引き上げることに合意。インドの財政支援によるラクソール (インド) ・カトマンズ間の電化鉄道、内陸水路による新たな連結性、農業分野における新たな相互関係について合意。 (3) 8日、インド訪問から帰国したKPオリ首相は、ネパール・インド関係は良い方向に進んでおり、自身のインド訪問は成功裏に行われ、歴史的なものになった旨述べた。 (4) 8日、マダム・クマール・ネパール元首相 (UML外交局長) は、第一回上海協力機構市民フォーラム出席のため中国を訪問。 (5) 12-13日、第8回ネパール・インド賢人グループ会合がニューデリーにて開催。 (6) 16-21日、プラディープ・クマル・ギャワリ外務大臣が王毅中国国務委員兼外交部長の招待で中国を公式訪問。 (7) 17日、ネパール・ロシア二国間協議がカトマンズにて開催。 (8) 18日、ギャワリ外務大臣は、王岐山国家副主席を表敬し、王毅国務委員兼外交部長と外相会談を行った。 (9) 19日、ギャワリ外務大臣は、China Reform Forum 主催の円卓会議において、輸送・連結性、農業・産業・技術移転、人的潜在能力の活用、天然資源・環境、貿易・投資は、ネパールと中国が協力してネパール

	<p>の経済成長を促進できる五つの分野である旨述べた。</p> <p>21 日、中国から帰国したギャワリ外務大臣は、ネパールと中国は、</p> <p>(10) KPオリ首相やダハル首相（当時）の訪中時に署名された全ての二国間合意を実施することで意見の一致をみた旨述べた。</p> <p>27 日、ネパール外務省は、板門店にて実施された南北首脳会談と、</p> <p>(11) 同会談に続き発表された共同宣言を歓迎する旨の声明を発出した。</p>
--	--